

質問書への回答

(業務名称) 2023 年度青年研修「防災とまちづくり(防災教育)A」研修委託業務

通番	該当頁	該当項目	質問	回答
1		タイトル	コースタイトルの後ろについている「A」とは何を意味していますでしょうか。	本研修は異なる国を対象としたコースが別途実施されており、それと区別するためのものになります。
2	P.11	第2-1 2. 2023 年度研修期間(予定)	全体期間のうち、1/10から1/30はオンラインもしくはオンデマンド教材による実施が可能で、1/31から2/16は日本にて対面実施という理解でよろしいでしょうか。また、オンラインやオンデマンド教材視聴の頻度は委託先が日程案を作成する中で決定して良いでしょうか。週あたり何日程度など目安があればご教示ください。	ご理解の通りです。プロポーザルでご提案ください。 なお、インドネシア語の既存オンデマンド教材はないほか、新規作成も想定していませんので、オンラインでのプログラムはライブセッションでのプログラムオリエンテーションや講義1・2コマ程度が妥当と考えています。
3	P.12	第2-1 9.研修方法(1)	「オンラインツール (Zoom、JICA-VAN)」とあるが、Zoomは貴センターにて会議URL発行が可能ですでしょうか。ベンダーを通して委託先がZoomの手配をする必要はありますでしょうか。	研修委託契約の中で、必要なアカウントについては手配頂く想定です。見積に必要な経費を含めてください。
4	P.18	第3 1.プロポーザルに記載すべき事項及び評価項目	見積書は評価項目の対象外という理解でよろしいでしょうか。	参考として提出はして頂きますが、評価対象外です。
5	12, 14	第2-2 3. (1) ⑤	「日本語－英語」の研修監理員を配置すると記載がありますが、「日本語－インドネシア語」の誤記と理解してよろしいでしょうか。	たいへん失礼いたしました。記載間違いです。本研修の使用言語はインドネシア語となりますので、「日本語-インドネシア語」となります。
6	12, 14	第2-1, 9の※、第2-2, 3(1)⑤	研修監理員の配置に関して、12ページではインドネシア語－日本語、14ページは英語－日本語となっているがどっちが正しいか。	同上
7	12, 14, 15	第2-1, 7, 9の※、第2-2, 3(1)⑤、第2-2, 3(2)④	研修使用言語がインドネシア語となっており、また研修監理員の配置に関して、12ページではインドネシア語－日本語となっていますが、業務総括者の語学力は英語が評価言語となっており、オリエンテーションやブリーフィング等は英語で実施することでよいか、同様に講義テキスト、配布資料も英語翻訳でよいか。	研修使用言語はインドネシア語ですが、研修員の中には英語を理解できる人も一定数いることが予想されていますので、総括の語学能力は対象者がより多くいることが見込まれる「英語」としています。 研修使用言語はインドネシア語ですので、オリエンテーション、ブリーフィング、講義資料含め、全てインドネシア語となります。
8	P.16	第2-2, 3(3)③	研修旅行の手配に関して、「研修員及び研修監理員の移動及び宿泊に係る手配及び支払いを行う（研修員の当機構国内機関滞在期間中の宿泊費や本邦滞在期間中の日当は除く）。研修受託機関から同行する場合は、移動及び宿泊に係る手配及び支払い、日当の支払いを行う。」とあるが、移動費（バスまたは鉄道）も見積必要があるか（例えば近距離の場合でも、JICAによるマイクロバス手配などは無いとの想定で全て積算すべきか）	研修員の宿泊・移動にかかる手配はJICAが行いますので、見積もりに含めて頂く必要はありません。
9	P.18	第3, 1	プロポーザルの評価に関して、見積の配点の記載がないが、見積金額は評価に含まれないという理解でよいか？ 予定価格は設定され、それを超えると失格などあるか	4に同じ。